

令和 8 年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	海の自然史学的研究		
実習内容	<p>沿岸に生息する海産動物に焦点を当て、形態や発生の観察等を通して、生物多様性の実体を解明する手法を学びます。国立科学博物館との共催です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、多様な環境（岩礁、砂泥底、海中など）に生息する海産動物の採集法 2、自然史博物館の活動、研究用標本の作製や保存法 3、新口動物の比較形態学 --- 棘皮動物、頭索動物（ナメクジウオ） 4、海産動物の生活史 --- ウニをモデルに幼生から五放射体制の成体へ 5、海産動物における個体の単位 --- ホヤ類の単体性・群体性とその分類 6、サンゴの生物学 --- 形態形質から考える生物分類—同定と分類学的課題 7、魚類の系統分類学と形態学 8、相模湾の深海性生物— 特にフクロウニ、ガラス海綿、および、ウミユリ類について（講義） 		
実習内容キーワード	自然史学、標本作製、新口動物、ウニ、ナメクジウオ、ホヤ、ウミユリ、トリノアシ、サンゴ、群体		
担当教員氏名・所属・役職名	清本正人・お茶の水女子大学・教授 柴小菊・お茶の水女子大学・准教授 宇田川澄生・お茶の水女子大学・特任助教		
協力教員氏名・所属・役職名	廣瀬慎美子・国立科学博物館動物研究部・研究主幹 中江雅典・国立科学博物館動物研究部・研究主幹 長谷川尚弘・広島修道大学・助教 雨宮昭南・東京大学・名誉教授		
対象学生・学年	学部学生・院生	開講期間	2027年3月22日から26日
開講大学・施設名	お茶の水女子大学 湾岸生物教育研究所		
施設の住所	〒294-0301 千葉県館山市香 11		
電話	0470-29-0838	F a x	0470-20-9011
e-mail	kiyomoto.masato*ocha.ac.jp （*に@を入れてください）	Web Site	http://www.cf.ocha.ac.jp/marine/index.html
交通案内	東京駅八重洲南口やバスタ新宿から高速バス館山駅下車、または JR 内房線で館山駅。JR バス（西岬方面）で約 15 分、「長通り」下車、徒歩 1 分。		
費用	施設利用（宿泊込）と食費 1 日約 2,000 円		
授業科目名	公開臨海実習		
単位数	2	定員数	20
授業料の徴収について	国・公・私立大学を問わず不徴収		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	書類選考。 締め切りは募集要項やホームページで確認のこと。		
選抜結果連絡法	e-mail によって、履修に必要な情報とともに本人に連絡する。		